

<白金標準、信用リスクに押されて再度 4250 円固め・・・>



(出所：オアシス)

中国、香港高等法院（香港高等裁判所）は 3 回延期してきた恒大集団に対する清算申し出審理を実施し、清算命令を発している。しかし恒大集団の本社がある広州裁判所と破産手続きの合意がなされていない事や共産党指導部の意向もあり、資産保全の動きは難しい状況である。またユーロ圏 GDP では、2 期連続のマイナス成長のテクニカル・リセッションを回避しゼロ成長となっている。その事から白金価格はリスク低下を受けて 4399 円まで高値を試している。しかし経済見通し悪化と数年にわたる不動産危機に対して、当局がまだ十分な対策を行っていないとの懸念から中国の本土株 GNI300 指数が 5 年ぶりの安値を更新し、米国では商業用不動産向け融資で予想外の赤字決算と減配を受けて、米国持ち株会社ニューヨーク・コミュニティ・バンコプの株が 40%近く下げるなど地銀の健全性をめぐる懸念が再燃を示している。また雇用統計で利下げ後退を受けて 4280 円まで下値を模索している。特に取組内容で個人の買い越しが大幅に増加しており、投げ相場から目先の安値 4253 円を試す値動きに注意が必要と思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が切り下げ、**シグナル** は上昇しながらクロスを示し、RCI は**短期**が下げながら**長期**は上昇しており、目先は下値を模索する値動きに注意した方が良いと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,500,000 円(2024 年 2 月 5 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 2 月 5 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>